

南山小学校区まちづくり協議会設立にあたって

私たちが住む南山小学校区は、北は市役所付近から南は船橋市の境の二重川までの地域。ここに約 7,000 人が住まい、暮らしを営んでいます。

この地域の多くは、ニュータウンとして開発されました。そのため、住宅地の豊かな緑、充実したインフラ、さらには盛んな地域活動などから、地域に愛着をもって「住みやすいまち」と感じている人がたくさんいらっしゃいます。

しかしニュータウンへの最初の入居（1979 年）から 45 年が経ちました。ニュータウンの特性ですが、1995 年に 5.8%だった南山小学校区の高齢化率は 2020 年には 34.0%と急速に上昇し、2040 年には 50.1%に達すると見込まれています。自治会によってはもっと早く 50%を超えることでしょう。現時点でも自治会役員など地域活動のなり手不足が問題とされていますが、さらに深刻化することが懸念されます。災害などいざという時に助け合えるつながりを維持するには、これからは自治会の枠を超えて地域全体で対策を講じていく必要があるのではないのでしょうか？私たちが好きなまちでこれからもずっと住み続けたい。そのためには、地域で生まれ育った人、ニュータウン開発とともに移り住んできた人、若者から高齢者まで世代をこえて、様々な人たちが、知り合い、支え合い、つながり、地域が一体となって活動を続けることが大切です。

令和 6 年 1 月にはワークショップを開催し、アンケートの結果や講話を基に地域の魅力づくりと課題解決に取り組むアイデアを出し合い、さらにこれらを基にグループワークを重ねて、まちづくり計画（案）としてまとめました。これから「ずっともっと・・・好きなまち」をキャッチフレーズに、今ある長所を生かしながら、防災・福祉など多岐にわたる分野で交流の活発化や担い手の育成などを通じて、まちづくりを進めて行きましょう。

令和 6 年 1 2 月 1 5 日

南山小学校区まちづくり協議会設立準備会
会長 桑原玉樹